

本市の人口は、2005年をピークに減少局面に入っており、少子超高齢化が進行している中、日本海国土軸形成の一翼を担う「日本海拠点都市」として本市の拠点性を高めるためには、持続的に発展する都市づくりを進める必要があります。

新潟駅周辺整備事業は、鉄道を横断する幹線道路整備や駅前広場の再構築により、安全で円滑な交通機能の強化や駅利用者の利便性向上、周辺土地利用の高度化など大きな効果が期待されていますが、都市間競争における優位性を獲得するためには、本市の拠点性向上に向けて、都市イメージの発信や交通結節機能の強化などの付加価値を高めることが重要であると考えています。

このことから、新潟の顔となる万代広場の計画について、平成13、14年度の計画提案競技(コンペ)最優秀賞受賞作品の基本コンセプトを継承しつつ、時代の変化や課題を的確に捉え、専門的・学術的見地から意見をいただきながら見直しを行うこととしました。

<背景>

◎時代の変化

○社会情勢や広域的視点

- ・人口減少
- ・少子超高齢化
- ・日本海国土軸の形成
- ・北陸新幹線の開業

○都市内の視点

- ・新潟駅南口広場の完成
- ・新バスシステムの導入

◎駅前広場の役割の変化

- ・都市イメージの発信
- ・交通結節機能の強化



<検討委員会での議論>

本市の拠点性向上や都市イメージを発信するために
「駅前広場に求められる機能, デザイン」

<検討委員会開催スケジュール>

平成29年度			平成30年度 ~ 平成35年度	
9月	12月	3月		
○第1回	○第2回	○第3回		
見直し案検討				

都心及び都心周辺部が担う機能

- ◇ 中核的な業務・商業機能が集積する都市の象徴的な市街地
- ◇ 様々な魅力・交流から新たな情報や文化が創造・発信される拠点
- ◇ 高次都市機能が集積した「都市の顔」に例えられる中心的なまちなか



⇔ 都心軸（新潟駅～古町）

中核的な業務・商業機能が集積され、多くの人々やモノが集まる好循環を生み出す地域

⇔ 交流軸（万代～万代島）

萬代橋周辺のやすらぎ堤や港といった本市の個性をさらに磨き上げ、賑わいを創出する地域

重点エリア

- ① 古町地区
- ② 万代地区
- ③ 新潟駅周辺地区(万代口)
- ④ 新潟駅周辺地区(南口)
- ⑤ 万代島地区

機能集積エリア

- ① 白山周辺地区
- ② 新光町・美咲町地区

重点エリアにおける都市機能

機能集積エリアにおける都市機能

エリア

概要

課題

古町地区

◇商業・飲食・業務と文化が一体となった中心的なまちなか

みなとまちから続く商業・飲食の中心地であり、特色ある食文化が色濃く残る。非日常的な都市型サービスなど、多様な機能の再集積を図り都心回帰モデルとしての機能強化を図る。

- みなとまちの歴史を活かした花街文化の活用
- まちの魅力向上

万代地区

◇萬代橋周辺の水辺空間と若者らが集う商業による賑わいのまち

大規模な商業施設が集積し、交通ターミナル機能を併せ持つ。信濃川やすらぎ堤を活用した地区内外との回遊性を高め、まちなかに広がりある賑わいを創出する。

- 公共跡地の活用（旧運輸局）
- 交通ターミナル機能の効果的活用

新潟駅周辺地区（万代口）

◇広域交流拠点機能を強化

新潟駅に訪れる人々に日本海側の拠点都市に相応しい風格と機能を印象付ける街並みを創出するとともに、東大通り沿いに業務機能の集積を図るなど、広域交流拠点としての機能強化を促進する。

- 老朽建築物の更新
- 新潟の陸の玄関口として風格ある景観形成

新潟駅周辺地区（南口）

◇広域交流の玄関口としての交通ターミナル機能の強化

新潟駅の高架化に伴いこれまで分断されてきた南北の市街地が一体化する。低未利用地の活用や交通ターミナル機能の充実、情報発信力の向上など、広域交流の玄関口としての充実を図る。

- 鳥屋野潟南部方面への公共交通軸の延伸
- 低未利用地の活用

共通の課題

まちなか居住の促進・オフィスビルの更新・回遊性の向上・賑わいの創出

エリア

概要

課題

白山周辺地区

◇都心近接型の立地特性を活かし各種サービスの効率的提供を維持

広域医療、福祉、文化、教育等の高次都市機能が集積しており、利便性の高い暮らしが実現可能。また、基幹公共交通軸沿線であり、公共交通による施設へのアクセス性にも優れ、サービスレベルの維持を図る。

新光町・美咲町地区

◇広域的な行政機能の向上

国の行政施設と県庁を核とした広域的な行政拠点としての機能の向上を図る。

鳥屋野潟南部地区

鳥屋野潟や高速道路ICなどの立地特性を活かしたアメニティゾーンの形成を図る。

【ポイント】

萬代橋を中心に信濃川の魅力を最大限に生かすことで都心の一体感を確保

体験型・時間消費型の空間「交流軸」

人やモノの好循環を生み出す「都心軸」

基幹公共交通軸の充実 [連携強化] [相互補完] [相乗効果]

エリア

万代島地区

◇国際交流拠点機能を活用した多様な交流を促進
開港150周年を契機とした各種取組みを通じ、賑わい空間を整備するなど、万代地区と連動した賑わいを創出する。

コンセプト

課題

- 公共交通アクセスの改善
- 信濃川沿いの空間（交流軸）の活用
- 新たな賑わい創出

拠点化に向けた都市デザインの基本的な考え方

都心軸

交流軸

基幹公共交通軸

H29.8.3 第1回拠点化に向けたまちづくり懇談会資料より

拠点化に向けた理念と目標

みなとまち新潟の発信

川や港を活用した賑わいづくりを通じて新潟らしさを活かした拠点化を目指す

拠点化に向けて取り組むべき課題

- ① 新潟のイメージやブランドを感じさせる新潟駅周辺のデザインづくり
- ② 新潟駅～万代島・古町へ人を導く仕掛けづくり(快適な歩行空間の形成)
- ③ 信濃川・西港の水辺を活かした賑わいエリアづくり
- ④ 西堀・榎谷小路を中心とした古町の新たな魅力を感じさせるエリアづくり
- ⑤ みなとまち・食文化に着目した観光資源の活用や情報発信
- ⑥ それぞれの軸上にある拠点間を結びつける快適で楽しめる移動環境の充実 など



古町地区

都心回帰モデルとして多様な機能の再集積を促進

西堀四つ角を中心とした既存施設の高度利用、及び、賑わい空間の創出

区役所移転を契機としたまちなかへの集客促進

みなとまち文化や歴史的建築物を結ぶ散策路・回遊空間の創出

新潟を象徴する空間デザイン

街や空の広がりを感じる通りの空間創出

人が憩い・集う広場の空間・動線整備

新潟の玄関口として相応しい風格と個性を兼ね備えた景観形成・機能強化

万代広場

新潟駅周辺地区

南口広場

上越新幹線を各地に結びつける二次交通結節機能の強化

民間活力を導入した南口低未利用地の利活用

万代・万代島地区

開港150周年を契機に、信濃川・西港の水辺空間を新潟独自の魅力として磨き上げ、街なかの新たな賑わい空間として活用

萬代橋を中心とする水辺空間の回遊性を高め、広がりある街なかを創出

万代地区とも連動した賑わい交流拠点として、みなとを活かした環境整備を推進

港の風情やにぎわいといった人々が歩いて移動したくなる歩行者空間整備により新潟駅からの回遊性を向上

高架下交通広場の整備に合わせ、万代広場・南口広場発着のバス路線を再編、都心軸の一体化を促進

快適に動ける空間整備

古町と新潟駅間の距離を感じさせない快適な移動環境を整備

都心軸の延伸 (鳥屋野潟方向へ)

「日」の字型の基幹公共交通軸の整備

基幹公共交通軸沿線